

2019.11「第6回建築学部設計コンペティション」 近畿大学建築学部・賛八会  
共催事業

令和元年度 学生支援事業「第6回建築学部設計コンペティション」の報告  
担当 第2事業部会

応募資格 : 総合理工学研究科(大学院)、建築学部の在籍者  
提出締切り : 令和元年12月4日(水)  
表彰式日時 : 令和元年12月13日(金) 午後6時30分～  
表彰式場所 : 近畿大学本校 アカデミックシアターACT116

この行事は、近畿大学建築学部と賛八会の共催事業で、建築学部の垣田博之准教授が担当事務局となり平成26年度から毎年一回開催している。

毎年、建築学部生・院生から多くの作品が応募される中で、審査委員長 岩前篤教授（近畿大学建築学部学部長）のもと大学の先生方と賛八会の役員で厳正な設計審査を行い、優秀な作品の受賞者に表彰・記念品の授与を行っている。

また、受賞者には、毎年、お祝いとして「秋の集い」にご招待している。

今回は、令和元年11月に「第6回建築学部設計コンペティション」を開催し、テーマは「葡萄蔓の茶室」である。今までにない野性味と迫力のある空間を構成できる可能性を秘めている「葡萄蔓」を素材に、茶室を、実際にお茶を点てる場ではなく、対話のための最小限空間と考え、千利休のような自由な発想の設計を期待し、最優秀案は、1階ギャラリーに建築する。実際に製作し、一定期間設置することを前提とした、製作可能性や、設置時の安全性も考慮した設計を望んで作品を募集したところ14作品の提出があった。

審査の結果、

- ・最優秀賞1作品「乱れ編み」～対話のための極限空間～

[受賞者] 2年生 新家 成基様、2年生 守屋 貴陽様、

- ・優秀賞3作品

- ・特別賞(賛八会賞)1作品「The Bubble House」

[受賞者] 交換留学生 アノーク・マリー・セシル・アルベルテリ様、

- ・佳作1作品

- ・入選6作品

が選出され、令和元年12月13日、アカデミックシアターACT116にて表彰・記念品授与式を行った。